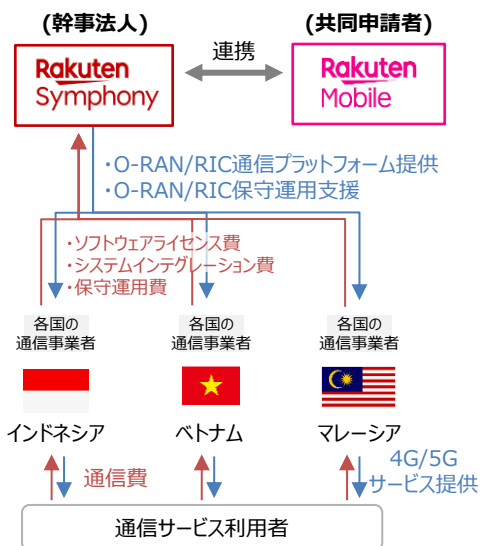


<b>プロジェクト名</b>	インドネシア共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシア／人工知能・機械学習による無線アクセスネットワーク制御最適化技術に関する実証事業		
<b>企業名</b>	楽天シンフォニー株式会社	<b>企業規模</b>	中小企業・ <b>中小企業以外</b>
<b>類型</b>	類型1・ <b>類型2</b> ・類型3	<b>分野</b>	GX分野・ <b>DX分野</b> ・経済安全保障分野
<b>事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額</b>	80億円/80億円/40億円		

**事業概要**  
【想定事業スキーム】



**【概要】**

本実証事業では、インドネシア、ベトナム、マレーシアにおいて1か国あたり100サイト規模のOpen RAN/RIC環境を提供し、当社ソフトウェアを組み込んだシステム統合による制御の安定性や運用上の課題を検証する。また、RIC適用時の、ネットワーク性能・電力消費・運用稼働コストを定量的に評価し、導入効果を最大化する条件等を検証する。

**【主な技術および実証性】**

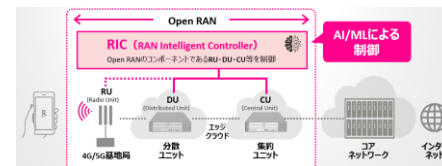
名称 : RAN Intelligent Controller (RIC)\*1

概要 : 人工知能 (AI) /機械学習を用いたRICによる基地局制御の最適化

実証性 : 電力削減量、TCO削減率\*2をKPIに設定し、既存ネットワークでの実績とOpen RAN機器により構成されるネットワーク (RICによる制御あり) 実績を比較することで、その有用性を実証

**【スケジュール】**

- 2026年11月迄 各国の通信事業者と実証全体の詳細設計
- 2027年 3月迄 相互接続性試験など技術的妥当性の事前検証
- 2027年 9月迄 ハードウェア装置調達、実環境でのネットワーク構築
- 2028年12月迄 実環境でRICを用いた制御の継続適用、インテグレーションの安定性および導入効果の検証  
商用展開に向けた運用プロセス確立



\* 1) Open RAN の管理・制御を人工知能 (AI) により最適化する機能  
\* 2) 導入・運用・保守などを含む総保有コストを従来手法と比較した際の削減割合

**日本裨益**  
【本事業の我が国の雇用増等への裨益効果】

- 海外での売上創出により、モバイル通信産業での外資獲得に向けたビジネスモデル構築・国際競争力の強化  
→ライセンス・運用支援・ソフトウェア更新を組み合わせた継続的な課金モデルの確立
- 日本発の技術について有効性を示す定量エビデンスの確立とグローバル展開促進  
→電力消費削減および運用コストの削減
- 高度デジタル人材の育成・定着と産業横断的な技術波及  
→他分野への応用が可能な、AI制御アルゴリズム・通信ソフトウェア・ネットワーク運用ソリューション等の開発や高付加価値人材の育成
- 技術主権・経済安全保障の強化、および社会インフラの自律性向上